

祐善寺だより

第10号

発刊日

2003年3月12日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡朝日町上糸生・森 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



一日の空過くうかは

やがて

一生の空過くうか

となる

金子大榮

本山上山奉仕団 参加者募集!!

今年度の当寺の重点教化事業として、本山への上山奉仕団の実施と同朋会の推進をあげております。

本山への上山奉仕団は、平成四年五月に第一回目を実施して以来、今回で四回目となります。近隣の寺院では近年、殆ど実施していない上山奉仕団を四回も計画させていただくことは、大変有り難いことであります。本山（真宗本願寺）での二泊三日間、阿弥陀様と、そして、御開山聖人と静かに対面させていただき、お念仏申していますと、不思議といのちのふるさとへ還つたような感動をおぼえるのは私だけなのでしょう。

世の中が荒れ狂っていますが、皆様の家庭の中に今一度、お念仏の営みを取り戻そうではありませんか。

皆様がご先祖が受け継いで下さったお念仏の営みを、「本山奉仕団」に参加していく中で見つけ出し、お念仏が途絶えかけている家庭の中に、今一度お念仏ある暮らしを取り戻さねばなりません。

ご法友お誘い合わせの上、是非、ご参加下さいますことを願っております。



上山奉仕団を迎える東本願寺同朋会館

本山上山奉仕団募集!!

ご参加下さい

このたび、左記のとおり本山上山奉仕団じょうぜんを募集致します。

上山奉仕団に参加されますと、東本願寺の同朋会館に宿泊して聞法や清掃奉仕、晨朝参拝などの尊い御縁に遇うことができるほか、全国から上山してこられるご門徒の方々と親しく交流を深めることもできます。

この機会に、ご家族、ご法友お誘い合わせの上、是非ご参加下さいますようお願い致します。

記

期日

平成15年5月31日(土)～6月2日(月)

宿泊先

東本願寺同朋会館

TEL 075-371-5047

参加費

23,000円

他に、お米2kg又は1,300円

【参加費内訳】本山冥加金15,000円+

バス代・拝観料・弁当代・旅行保険代等

募集人数

30名

交通手段

往復ともマイクロバス利用

見学

帰りに、バスで親鸞聖人や蓮如上人にゆかりの深い御旧跡を拝観します。

申込方法

「本山上山奉仕団参加申込書」で祐善寺までお申し込み下さい。

申込締切

5月5日(祝)

その他

①本山上山でおかみそりを希望される方は、参加申込書で併せて申し込みして下さい。

(おかみそり冥加金10,000円)

②参加当日の日程、持ち物等の詳細につきましては、ご参加される方に直接お知らせ致します。



前回の上山奉仕団で、御影堂門の清掃を行う

祐善寺同朋会へのお誘い

実施月 3月～10月

実施曜日 第一日曜日

時間 午前8時30分～10時

内容 ● 正信偈のおつとめの練習
● 真宗を正しく理解する

● お文(ふみ)の練習

● 日頃感じていることの話し合い

持ち物 勤行本 念珠

下記の通り同朋会どうほうかいを開催します。
ご家族ご法友お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

3月2日より始まります。お待ちしております。

筆頭総代 島氏が退任 後任には山内氏

永年、門徒総代（筆頭）を務めてこられた島助右工門氏が高齢等のため、一月二日の門徒総会で退任されました。後任には、山内吉兵衛氏（杖立区）が選任されました。

後任の山内氏には、祐善寺門信徒一丸となった寺つくりのために、ご尽力頂きたく念願しております。なお、新しい門徒総代には、松島栄氏（森区）が選任されました。島氏は、門徒総代の中心的立場から各種事業を通して祐善寺の復興に貢献していただきました。この稿をお借りして御礼申し上げます。

島氏は、門徒総代の中心的立場から各種事業を通して祐善寺の復興に貢献していただきました。この稿をお借りして御礼申し上げます。

総代退任のご挨拶

島 助右工門

私、今年傘寿でやがて装姿を終わって行かねばならない年になりましたので、昨年一杯で寺の総代を退任致しました。

回顧しますと、昭和五十三年に役員になりましたから二十四年間、丁度奉職していました会社を定年で退職したこともあって、私なりに私の力量を出し切って尽くして参りました。

その間、特に力を尽くしましたのは、車道の新設、総墓参道の拡幅、車道の舗装、境内拡幅、庫裏の改築等の工事です。

その間、ご門徒各位に、ご理解と大変なご協力を頂きまして有難うございました。またご信徒の皆様、朝日町役場、上糸生連合区、森区、工事業者の方々の暖かいご協力も頂きました。車道新設、境内拡幅時には、地主の方々が快く土地を分けて下さいましたが、そのご恩も偲んでいます。

さらに、平成十二年迄は会計も担当していましたが、二十二一年間に志を頂戴しましたご信徒さんの数は百四十名を超えています。（寺のご親族は含まず。）これも、寺ならこそと思っております。（寺有難うございました。）

祐善寺と、ご門徒各位のご隆昌を願っています。

着任のご挨拶

山内 吉兵衛

立春ともなり、昼は春を思わせる足音が近くに感ずるわけですが、ご門徒の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、筆頭総代を勤められた島助右工門氏が、本年で八十歳になられることで退任を申し出られたのですが、その容姿からお見受けする限り、健康体であられると思っております。住職はじめ全役員が一年でも我々を育成するために留任をお願い致しましたが、ご本人の意志も堅く、器でもない私に後任を引き受けるよう住職並びに前任者であられる島助右工門氏から要望がありましたので、前任者としては秀才と非才との差があり、その点を充分心してご指導とご協力を受けることができると信じお受けすることとした次第ですので、よろしくお願い申し上げます。

由緒ある祐善寺の筆頭総代として継承した以上、行事予定を消化するには皆様方のご理解あるお力添えがなくして何一つ出来ず、衰退をたどる事になりかねません。よく耳にする事ですが、お寺の事業を実施する度に「お寺さんのことだからなんとかなるだろう」と聞く事があります。時代の変化と共に人間の思想も変わってきておりますので、何事を実施するにも、皆様方のご意見を拝聴し、ご相談の上にもご相談を重ねて実施し、又、年中行事についても、長所短所があらうかと思われましますので、長所は継続、短所は改善する様全員で気配り共に考え、話し合いが継続出来るようにしようではないでしょうか。

最後に、経済的に厳しい時期が続く、いつになったら緩和するのかわからない為、緊急以外の事業又は行事に取り組む場合は、早く検討に入り、長期的計画を立て総会に図り了解を得た上で取り組んでいく考えでありますので、ご門徒様のご指導とご協力を賜わります様よろしくお願い申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

新役員役割分担 (平成15年度)

敬称略

役割	役員氏名	役職
総括	山内吉兵衛	門徒総代(筆頭)
護持費	上野喜右工門	門徒総代
"	渡辺 弘毅	"
教化事業(同朋会)	野村 明良	監事
教化事業(本山奉仕団)	桑原 文子	門徒会員
教化事業(報恩講)	駒 啓一	門徒総代
"	上野 保雄	門徒会員
環境整備	松島 栄	門徒総代
施設整備	渡辺長右工門	責任役員
墓地管理	山内吉兵衛	門徒総代(筆頭)

平成十四年度 同朋会参加者感想文

月に一度の同朋会は、私にとって心待ちにし、この日はどうか何も行事が入ってこず、お寺へ行けますようにと願っています。

祐善寺の本堂に座り、手を合わせ、ごえん様の元で皆様とお経をあげたり、お話を聞いたりできる幸せをありがたいと思っています。

皆様と顔を合わせられるだけでも幸せがやってくるようです。気候に合わせて、熱いお茶、冷たいお茶と奥様が用意してくださるお茶は、とてもおいしく、ありがたかったです。同朋会の終わりは、恩徳讃を歌いますが、お内陣に向かい手を合わせて歌いますと心が清く澄んでいくようです。祐善寺の門徒になれて良かった。祐善寺の方々のご縁を持てたことに主人に感謝しています。

あなた、ありがとう。

鯖江市 桑原文子

昨年は風さわやかな五月に御遠忌法要に参詣させていただけたこと、本当にありがとうございました。

又この一年を御住職様はじめ皆様様の深い御慈愛に見守っていただきながら、元気で幸せに一日一日を過ごさせていただきましたことを心より感謝致しております。

難中之難——人としての命をいただいたことの何とすばらしいことか

何とむずかしいことか

その驚きと喜びを

正信偈の言葉を通して御住職様から教えをいただき理解も出来るようになり、同朋会に参加をさせていただいたことを本當にうれしく思っております。ありがとうございました。

守山市 桑原久枝

「南無阿弥陀仏。」本堂お内陣の前で合掌させて頂く朝のひととき、第一日曜日祐善寺同朋会でのおつとめの練習の始まりです。御住職、御家族、お顔見知りの御門徒の方々と和やかに正信偈、御文様を一句一句唱和練習させていただき、続いて月例法語の説明を

いただきます。

一節一節なかなか理解できず行き詰まりそうな日もありますが、地元御門徒様方の言い伝えられる身近な法話などをお聞きしたり、時間の経つのも忘れてしまいます。最後の恩徳讃の唱和は、「身を粉にしても報ずべし」と、心から御仏に謝し合掌の心境になります。

是非本年も同朋会をお願い致したく、お一人でも多く御参加下さればと念じ

てやみません。

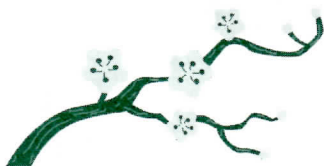
昨年は祐善寺様最大の御遠忌が厳修され、御住職、役員、地元の皆様方の御苦勞を心より感謝致しております。当日は素晴らしい天候にも恵まれ、本堂境内一杯のお参りの方々、お稚児様の盛大な行列、藤枝先生の御法話、マリンバ演奏、大勢の僧侶の読経がございました一日でした。門徒の一人として目頭の熱くなる思いが致しました。御遠忌に続き恒例の永代経、報恩講様、御仏縁の数々、本当に

ありがとうございました。

西田中 上野みよ子



同朋会で座談に話がはずむ



平成15年度 祐善寺年間教化事業等計画

1 年中行事の厳修

- ① 御年頭 1月1日・2日
- ② 彼岸会 春 3月21日 午後2時〜
法話・住職
- 秋 9月23日 午後2時〜
法話・住職
- ③ 蓮如大御忌 6月24日(火)
布教・朝倉師
- ④ 永代経会 8月7日(木)
布教・大門師
- ⑤ 報恩講 11月2日(日)
布教・出雲路師
- ⑥ 御正忌 11月28日(金) 午後2時〜
- ⑦ 除夜の鐘 12月31日(水) 午後11時45分〜

2 同朋会の実施

(第一日曜日 午前8時30分〜10時)

- 第1回 3月2日 第5回 8月3日
- 第2回 4月6日 第6回 9月7日
- 第3回 5月4日 第7回 10月5日
- 第4回 7月6日

同朋会の内容

- ① おつとめ、おふみの練習
 - ② 座談
 - ③ 今年より、各回当番で感話等を話す
 - ④ 参加者が司会進行を担当
- ※特別の事情により、日時等変更あり

3 本山上山奉仕の実施

期間 5月31日(土)〜6月2日(月)
本山同朋会館で宿泊、帰路に親鸞聖人の御旧跡等を見学

4 作業奉仕

- ① 草刈り奉仕 7月27日(日)予定
当番地区 森、杖立及び有志
- ② 雪囲い奉仕 11月23日(日)予定
当番地区 森、杖立及び有志
- ③ 報恩講奉仕 11月1日(土)、2日(日)
当番地区 天谷、新庄、上川去地区
- ④ 仏具みがき奉仕 10月25日(土)
報恩講当番及び有志
- ⑤ その他

5 門徒総会の開催

1月2日 午前10時〜

6 「祐善寺だより」の発行

年3回発行予定

おくやみ

野村清子様(福井市つくも一丁目)には、二月二十日、行年九十一歳にて往生の素懐を遂げられました。
御生前中の御功労に、心より深謝申し上げます。



投稿のお願い

この『祐善寺だより』の発行を支えて下さるのは、皆様からの投稿やご協力が不可欠です。
どうか、日頃感じられている「宗教」の話や、社会の出来事についての感想、生活で感じられていること、本山や祐善寺に対しての意見など、どのようなことでも結構です。ごしごしご投稿下さいますようお願いいたします。



作業奉仕 雪囲い



本堂への雪囲いは高所での作業になる

毎年、冬を迎える前に、本堂から庫裏、住宅にかけての雪囲い作業が、森・杖立区のご門徒によって行われていきます。昨年は十一月三十日に、小倉地区から有志のご門徒が加わっていただいていた行われました。
当日は幸運にも晴天に恵まれたため、作業もはかどりました。雪から寺の建物を守るには、この雪囲い作業は、欠かせることができません。
昔から、この奉仕作業が脈々と受け継がれてきたのです。本当に有り難いことです。

真宗大谷派 福井教区・福井東別院 蓮如上人五百回御遠忌

いのちコミュニケーション テーマ 家族の呼吸感じてますか

御遠忌法要

5月22日(木)
音楽法要
教区合唱団 ラ・サーラほか
午後2時～

5月23日(金)
女性による法要&寸劇
吉崎の嫁おどし
午前11時～
福井東別院本堂・大谷会館
落慶奉告法要
ご門首御親修・信行院殿御参修
午後2時～
法話▶松榮明澄氏

5月24日(土)
帰敬式(おかみそり)
ご門首御執行
午前9時20分～
五百回御遠忌遠夜法要
ご門首御親修・信行院殿御参修
稚児行列
正午～
法要
午後2時～
法話▶出雲路善嗣氏

5月25日(日)
五百回御遠忌満座法要
信行院殿御参修
稚児行列
午前10時～
法要
正午～
法話▶橘 公正氏

讃仰講演会

4月13日(日)
午後2時
「家族の呼吸感じてますか」
九州大谷短期大学名誉教授
宮城 颯氏

4月27日(日)
午後2時
「蓮如上人と越前」
大谷大学教授 大桑 齊氏

5月11日(日)
午後2時
「後生の一大事って何？」
大谷大学学長 小川一乗氏

5月22日(木)
音楽法要後
[蓮如上人と女性]
同朋大学特任教授 池田勇諦氏

イベント

4月20日(日)
午後2時～4時
福井東別院本堂
メッセージシンガー
新谷のり子 トーク&コンサート
テーマ
「家族の呼吸感じてますか」
-私の出逢った唄たち-

5月10日(土)～25日(日)
福井東別院大谷会館一階休憩ロビー
ハンセン病パネル展
テーマ
「人間回復への願い」
-ハンセン病回復者の
歩みと真宗-

5月18日(日)
午後10時～5時
福井東別院本堂・境内
RENNYO500ワールド
(青少幼年の集い)

テーマ
「未来を生きるいのちと共に」
親子で、家族で、お子様からおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しくいのちのつながりが感じあえる集い。

第2回

御和讃講座

智慧の光明はかりなし

智慧のはたらきの光は、計り知れないので

有量の諸相ごとごとく

生死のはかないもの全て

光暁かぶらぬものはなし

そのまま果てしない智慧を得ることができます。

真実明に帰命せよ

であるから、唯一の真実である阿弥陀様に帰する他はないのです。

其の六

仏事 一口メモ

三具足 花・香・ローソク(3)

お内仏に必要な仏具「三具足」のうち、今回は向かって右側にお飾りする燭台についてお話します。燭台とはローソクを灯すための仏具のことで、真宗大谷派では鶴亀の燭台を用います。花瓶や土香炉と同様、お内仏(仏前)を荘厳する仏具の一つです。親鸞聖人は浄土真宗を「南無不可思議光」(正信偈)と、「光」をもって表現されました。南無阿弥陀仏の心を光をもつて教えてくださったわけですから、月の光は闇夜を照らし、進むべき方向を示してくれまます。同様に、生きあぐね迷い続ける私たちに生きる方向を示してくださいのが仏さまの智慧の光です。そういう意味で、仏前を荘厳するローソクの光は、ご本尊(阿弥陀如来)を明るく照らすだけでなく、仏さまの智慧のはたらきを表現しているのです。さて、鶴亀の燭台を用いる理由には諸説があります。その一説は鶴と亀の足に譬え、「鶴の足は長く、亀の足は短い。鶴の足も亀の足も、それぞれ自らの特性であるから、長い足を切る必要もなく、短い足にたす必要もない。

ともにその特徴個性こそ尊重されるべきものだ」というものです。つまり、浄土真宗の教えは、「老少善悪の人をえらばれず、ただ信心を要しようとす」(歎異抄)とありますように、人それぞれ長短善悪の違いがあるけれども、浄土真宗はえらぶことがありません。人みな念仏を申し、仏さまの智慧の光に出あうとき分け隔てなく救いが成就するのです。

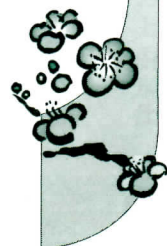
鶴亀はこういう阿弥陀如来の心を表現しているのです。お内仏に向かうたびに、この教えを思い起こし味わってほしいという願いが込められているのです。私たち人間は、人を差別の眼で見、善し悪しの判断で切り捨てていきます。こういう邪で驕り高ぶる私たちの心を阿弥陀如来の智慧の光はいつも照らし出しているのです。鶴亀の燭台には、祥月命日や年忌法要、彼岸やお盆などのお勤めのときに点じます。普段は木製の木蟬をさしておきます。線香を燃じるための口ウソクは、専用の燭台を手前に用意しておくと便利です。「サンガ」より



鶴亀の燭台

鶴も亀も左向きになる。鶴がくわえているものを蓮軸といい、蓮の実(正面)・葉(右側)・つばみ(左側)をかたどっている。

お知らせ



平成十五年度 年忌表

百回忌	明治三十七年没
五十回忌	昭和二十九年没
三十三回忌	昭和四十六年没
二十五回忌	昭和五十四年没
十七回忌	昭和六十二年没
十三回忌	平成三年没
七回忌	平成九年没
三回忌	平成十三年没
一周忌	平成十四年没

本年度の年忌は右の通りでございますので、貴家の過去帳をお確かめの上、または寺へお問い合わせの上、かけがえのないご先祖様の年忌法要を是非お勤め下さいますよう、お願い致します。

ラジオ放送 『東本願寺の時間』

- ・福井放送 (FBC)
- ・毎週日曜日
- ・午前7時30分～7時40分

日曜日の朝は、FBCラジオの「東本願寺の時間」から始まります。

彼岸会

とき 3月21日
午後2時～

勤行 正信偈

法話 住職

入門 介護保険⑩

住宅改修費給付とは？

介護サービスを必要とされる高齢者が、在宅で自立した生活を送っていただくために、住宅を改修することが出来ます。

介護保険が適用されるのは、次の六項目です。

① 手すりの取り付け

転倒予防もしくは移動、移乗動作を補助する目的で、廊下、トイレ、浴室、玄関等に設置するもの。

② 床段差の解消

敷居を低くする、スロープを設置する、浴室のかさ上げ等の工事

③ 滑り防止、移動の円滑化等のための床材の変更

居室を畳敷きから板製床材やビニール製床材への変更。浴室は滑りにくい床材への変更等。

④ 引き戸等への扉の取り替え

開き戸を引き戸、折り戸等に取り替える扉全体の取り替え。ドアノブの変更等も含まれます。

⑤ 洋式便器等への取り替え等

利用限度額の範囲内で自己負担額は実際にかかった費用の1割です。

編集後記

★新しい年を迎えたと思っているうちに、気が付けば、もう三月。月日の流れは、実に速く感じられます。今年の冬はインフルエンザが猛威をふるいましたが、皆様にはお変わりございませんでしたか。

★今号で「祐善寺だより」も、早や十号。創刊号を出す時には、いつまで続くかと不安でしたが、どうにか軌道に乗ってきたというところです。皆様方の更なるご支援、ご協力、ご投稿をよろしく願います。

★永年、門徒総代を勤めていただいた島様が退任されました。多大なご功勞に深謝申し上げます。筆頭総代の後任には山内氏、新たに松島氏が門徒総代に選任されました。よろしくお願致します。

★本山への奉仕団、どうか大勢の方のご参加を願っております。本山での二泊三日間には、温泉や観光地では体験することのできない深い感動があります。是非、皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいますように。

★季節の変わり目、皆様くれぐれも御身ご自愛下さい。